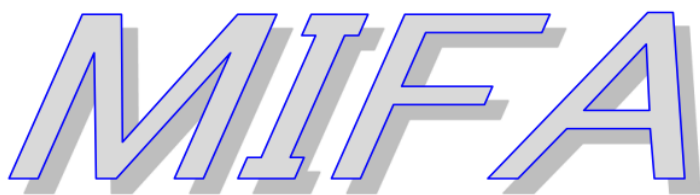


発行日：2025 年 7 月 3 日

目 次

2025 年度 MIFA 定時総会	1
2025 年度 役員・委員	3
折り紙教室	4
2024 年度「日本語学習支援ボランティア養成講座」	5
防災避難訓練	6
役員会便り	7
状況表	8
今後の予定	8

ま い ふ あ



No.155 Jul/Aug/Sep 2025

まちだ地域国際交流協会

Machida International

Friendship Association

ボランティア団体/会長 黄川田 南

<http://mifa-machida.info/>

2025 年度 MIFA 定時総会



鈴木 礼子（総務部）

5月8日木曜日、13時半から町田市民フォーラム4階第2学習室にて2025年度MIFA定時総会を開催しました。その時点での会員数は112名、委任状提出者62名、出席者25名でしたので「会則第15条 総会の成立は委任状を含め2分の1以上の出席を必要とし、議案の採決には出席会員の過半数による賛成をもって可決される」を満たすものです。

（2ページ目に続く）

議 案

- | | |
|-------|-----------------|
| 第1号議案 | 2024年度活動報告 |
| 第2号議案 | 2024年度決算並びに監査報告 |
| 第3号議案 | 任期満了に伴う役員改選 |
| 第4号議案 | 2025年度活動計画（案） |
| 第5号議案 | 2025年度予算（案） |
| 第6号議案 | 会則変更の承認 |
| 第7号議案 | その他 |

(1 ページ目から続く)

黄川田会長の挨拶に続き、議長に松崎副会長を、書記に伊藤亘さん、吉野かおるさんをそれぞれ指名提案し、出席者の了解を得たところで議事が始まりました。第 1 号議案及び第 3～5 号議案について各部長、第 2 号議案については監査役からの説明の後、ほぼ出席者全員からの承認を得ることができました。第 6 号議案は委員の任期についての会則の変更でしたので会長から説明があり、質疑応答となりました。何回かの意見の応酬の後、採決に入り、その結果出席者の過半数の賛成により第 6 号議案も承認されました。第 7 号議案では出欠の返信ハガキに書かれていた「2024 年度決算が赤字であったのはなぜ？」という質問に対しての説明がなされました。これは当初予算に組みまれていなかった養成講座を急遽実施したことに起因すること、MIFA の財政状況は健全であること、繰越金が多すぎるのではないかと時に指摘されることもあります。以前 10 年近く毎年寄付をしてくださった篤志家によるところであることなどを説明し了解を得ました。

以上のように議事は進行し、予定より少し早い 15 時 15 分には終了となりました。

皆様、ご協力ありがとうございました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

会則 一部変更

定時総会での第 6 号議案承認により、会則・第 10 条が以下のとおり変更となりました。

(下線は変更箇所を示す)

変更前	変更後
第 10 条 (委員) 各部長は必要に応じ会員のうちから任命することができる。	第 10 条 (委員) <u>委員は、各部の実務の一部を担当する。これには、教室の運営を担当するコーディネータ及びサブコーディネータを含む。</u> 各部長は必要に応じ会員のうちから任命することができる。 <u>委員の任期は原則 2 年間とする。</u>

定時総会 黄川田会長 挨拶 (全文)

本日はご多用中のところ、総会にご参加いただきましてありがとうございます。

昨年の総会で、私は 2024 年度を盛り上げる年にしたいと話をしていました。昨年度は、夏の「バーベキュー大会」から始まり、「日本語スピーチ大会」、今年に入ってから「春の集い」などのイベントを予定どおり開催してまいりました。それぞれ多くの方の参加をいただき、大変盛況のうちに終わったと考えております。また当初、予定されていなかった「日本語学習支援ボランティア養成講座」を今年になって開催しました。その結果、10 名強の方々が MIFA に加入されました。これらの方がこれから教室で活動されていくことで教室の活動も盛り上がるのではないかと考えております。コロナが明けてから早く MIFA の活動を以前のように復興させたいとの私の強い願いがあって標語を掲げて 2 年間活動

を続けてまいりました。昨年度の標語「盛り上げる」は、皆様のご理解とご協力のもとで、色々なイベントが大変盛り上がりおりましたので、ほぼ達成できたのではないかと考えております。皆様のご協力に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

まだ新年度の役員人事が承認されているわけではないので、ここで私がこれから話をすることはちょっと違和感があるかも知れません。ここ 2 年間、標語を掲げてきたので、さて今年度の標語はどうしようかと、この連休のあいだに考えていました。活動が盛り上がりてきておりますので、盛り上がりを見守るものにするために、今年度も「盛り上げる」にしました。昨年度と同様ですけれども、何もしなくて盛り上がるわけではないので、ぜひ皆さん方には「盛り上げる」という意識を持って本年度も教室やイベントに参加していただければ、ありがたいと思います。

あいさつは一応ここまでなのですが、ちょっとお知らせがございます。話は変わりますが、世界における日本語学習を長い間支援されてきた大森和夫さん、大森弘子さんというご夫妻がいらっしゃいます。MIFA の 30 周年記念の式典で講演いただこうと思ったのですが、あいにく作文コンクールの作品選考で多忙ということで叶いませんでした。そのような縁があって、大森さんご夫妻から本を寄贈していただきました。2 種類の本を数冊ずついただきましたので、希望者に差し上げますという記事を最新の MIFA ニュースに載せました。ご希望の方はニュースをお読みいただいてお申し込みください。また、一部を町田市立中央図書館に寄贈したところ、蔵書として登録してくださり、市民の方も閲覧、貸し出し可能となりましたので、お知らせしたいと思います。以上でございます。

2025 年度 役員・委員

会 長 黄川田 南 副会長 松崎 匡夫

語学部長 揚石 久子 副部長 早田 紀子 武田 伴子 委 員 青山 恵理子 大島 英子

コーディネータ 及び サブコーディネータ

月 曜 植田 哲史 山本 ひとみ 水曜夜 鍋谷 匡乃 高橋 美子

親 子 石川 久恵 吉野 かおる 木 曜 三村 容子 大島 英子

火 曜 丸岡 千恵子 森山 恵子 土 曜 小林 淳子 伊藤 亘(A) 倉間 和子(B)

友好部長 樋村 淳 委 員 幾野 光彦 福井 亜也

会計部長 大江 康照 副部長 依岡 雅人 委 員 福井 亜也

広報部長 濱田 敏裕 副部長 立石 滋子 委 員 池田 晴美

総務部長 鈴木 礼子 副部長 近藤 公美

監 査 役 片山 純子 町田 和子

顧 問 渡辺 紀子

折り紙教室



前列右から5番目が長南さん、前列中央ジャンさんの右隣が三村さん

去る5月26日、月曜クラスでは、恒例の折り紙教室を開催しました。いつも指導してくださるのは支援者の長南さんです。今回は、4月にMIFAに入っただけのジャンさんが、そのときの模様を書いてくれました。



ジャンさん

学習者ジャンさん

三村 容子（月曜クラス）

ダオ トウ ジャンさんはベトナム出身の学習者、ジャンさんと呼びしています。ジャンさんと学習を始めたのは、最近、4月半ばからです。

日本語は会話も上手ですが、読み、書きもよく出来ます。ベトナムでN3を、来日してN2を取得しました。さらに日本語だけでなく介護の資格も取り、仕事についています。

そんな真面目で勉強熱心な彼女が今回月曜クラス恒例の折り紙づくりにチャレンジ、今の季節の花、紫陽花を素敵に折りました。紫陽花の花言葉「和気あいあい」のようにクラスの皆と和気あいあいと楽しそうに折っていました。

これからも楽しく学習するジャンさんを応援していこうと思います。

楽しい折り紙教室」

先週の月曜日、私たちのクラスで折り紙の授業がありました。先生が「今日は少し難しいけれど、きれいな花を作ろう」と言って青や紫、ピンク等の折り紙を配ってくれました。最初に先生がカエル（カエルの）の折り方を教えてくれました。先生は前に立って、一つ一つのステップをゆっくり説明してくれました。皆、真剣な顔で折っていましたが、時々「ここ、どうやるの?」とか「あ、間違えました!」という声も聞かれました。私も最初はうまくできませんでしたが、先生が助けてくれたのでなんとかカエルを完成させる事が出来ました。アジサイの花は小さな花びらがたくさん集まってできているので一つ一つのパーツを丁寧に折っていました。最初は少し大変でしたが、だんだんと形ができてくると楽しくなってきました。私は紫色の紙を使って、小さな花を四つ作り、それを紙の上にバランスよく並べました。先生にのりで貼るコツを教わってもらいながらきれいにまとめる事ができました。友達の作品もそれぞれ、色の組み合わせが違ってとても素敵でした。最後に先生と皆で作った作品を持って写真撮影しました。この折り紙の授業はとても楽しくて、もっと色々な花を折ってみたいと思いました。

ダトウ ジャン（月曜クラス）

2024 年度「日本語学習支援ボランティア養成講座」



早田 紀子（語学部）

2024 年度の MIFA 主催「日本語学習支援ボランティア養成講座」が、2025 年 2 月 6 日より 4 月 3 日まで毎週木曜日計 8 回で開催されました。今回も山形美保子先生を講師にお迎えしての講座です。先生にご都合を伺い、毎週教室を確保できる曜日ということで、何年ぶりかで平日開催になりました。受講者の応募状況が心配されましたが、18 名の応募があり、最終的に 14 名の受講生を迎えての開催となりました。

「日本語ボランティアとは？」というボランティアの原点のお話から始まり、前半は「外国人への日本語の教え方」として日本語レベル初級者・中級者・上級者別の対応のしかたの講義がありました。初級者に対して、身近なもので教材になるものを探したり、絵や写真などを使って“やさしい日本語”をくりかえす方法などを勉強しました。また、中級者に対して、一つのテーマで 1 分間スピーチをする学習方法、インタビューやアンケート形式を使うなど、学習者に＜聞いて話すことを中心＞とした学習方法を練習したりしました。さらに上級者には、日本語学習用の教材だけでなく、新聞の投稿欄・書籍・ニュースなど「生のもの」を使って支援する方法、＜話すことを中心に＞ロールプレイの手法を取り入れるなどの学習方法があるということを勉強しました。最後に「やさしい日本語とは？」「やさしく日本語を話すために」何に注意をし、工夫をしたらよいかのお話がありました。

後半は、MIFA 支援者から実際の支援体験談を聴き、

教室見学をしていただいた時のことも含め、質疑応答しながら支援活動の現場をより知っていただきました。「学習者を囲んで」の回は、MIFA の学習者 6 名の方が参加し、グループに分かれてのディスカッション形式です。設定されたトピックについて学習者と実際に会話をし、学習者の反応をみながら会話をつなぎ膨らませることを体験しました。一方的な講義だけでなく、受講者同士との交流もあり、学習者が加わっての参加型のプログラムは、受講者の方々に大変好評でした。また、折々に、山形先生が杉並区のボランティア団体で実際にされている日本語ボランティアの経験を話してくださり、それは受講者にとっては大変興味深く、貴重なお話が伺えたと思います。

最終日は、会長挨拶、各部の紹介、最後に語学支援活動を始めるにあたっての注意事項、図書の貸し出しについての説明を聞いていただきました。

入会后、支援活動を始められる方は 11 名（男性：3 名・女性：8 名）、希望支援曜日のコーディネータと顔合わせをして、今後の支援予定の打合せをしました。もうすでに各教室で支援を始められていると思います。初めて学習者と対面し、どう会話したらよいものか？ 不安に感じられることもあるかと思います。分からないこと、困ったことがあったら、教室にいる先輩支援者にどんどん聞いてください。きっとよいアドバイスをしてくれるでしょう。

MIFA でのボランティア活動を皆さんと一緒に楽しくやっていきましょう！

防災避難訓練

災害時の行動指針を示してほしいとの会員からの要望を受け、「防災ガイドライン」を役員会でまとめました。そのガイドラインに沿って防災避難訓練を日本語教室の各クラスで実施しました。その模様を報告します。

はじめての避難訓練

中田 佐知（親子クラス）

親子クラスは6月9日（月）に避難訓練を実施しました。

事前に避難訓練の実施を学習者に伝え、避難訓練が何かを知らないという返答もありました。その学習者が出身のインドのエリアでは行わないそうです。日本では保育・幼稚園、学校、職場、地域それぞれで避難訓練があることを伝えました。

時間になり訓練開始です。実際の災害時同様に何も持たず、学習者にはお子様を抱っこしてもらい教室を出ます。（※貴重品があるので、今回は支援者1名が教室に残りました）



数か所ある避難口の確認後に、階段で1階まで下りました。訓練自体は単純なのですが、その中で大切な気付きがいくつかありました。



教室の出入口：親子教室では学習者の方々がベビーカーでいらっしゃいます。そのベビーカーで出入口がふさがっていて、教室からの避難に時間が掛かりました。今後は出入口をふさがない置き方に変更します。

地域での避難場所：避難訓練を知らないという事は、お住まいのエリア・建物等の避難場所を知らないという事です。災害時に向けた家族間での取り決めなどもちろんありません。学習者にはご自宅での避難場所の確認をお願いしました。

災害時のことば：教室では「やさしい日本語」を目指していますが、災害時、「やさしい日本語」はおそらく使われません。そう考えると、定期的なことばの避難訓練が必要だと思いました。

避難経路を確認

濱田 敏裕（土曜クラスA）

6月21日（土）、日本語教室の土曜クラスAと土曜クラスBは合同で防災訓練を行いました。町田市民フォーラム4階・講習室に集まった学習者と支援者、合わせて25名ほどに対してコーディネータの小林淳子さんが防災について説明しました。日本は地震が多く、2011年には東日本大震災が起きたことを話し、学習者に地震を経験したことがあるか聞きました。日本で初めて地震を経験したという方、東日本大震災のときには東京にいたという方など様々。小林さんは、地震や火災が起きたときの行動について次のように説明しました。

- ・慌てることが一番良くない。落ち着いて行動する
- ・地震では物が倒れたり、物が落ちたりする。そのような場所から離れる
- ・町田市民フォーラムは耐震性が高いビルなので揺れが収まるまでは外に出ない方が良い
- ・館内放送があったら、内容を聞いて指示に従う
- ・学習者には支援者から内容を伝える
- ・火災では煙を吸うと危険。ハンカチなどで鼻と口を押さえて姿勢を低くして煙を吸わないようする

説明が終わったところで、2つの班に分かれて教室を出て非常口を確認して回りました。外階段に繋がる非常口のドアを開けて外に出ることはできませんでしたが、エスカレーターで1階まで下りてビルの外から避難経路を確認しました。



私自身、何回も訪れている市民フォーラムですが、避難経路を把握できていませんでした。「天災は忘れた頃にやってくる」。最近「天災は忘れる前にやってくる」とも言うそうです。自宅においても災害への備えを確認しようと思います。

役員会便り

毎月の定例役員会で話し合い、報告された事についてお知らせします

4月8日	・MIFA が賛助会員となっている町田国際交流センター（MIC）から、年会費（従来 1 口 1 万円で 1 口負担）を 2 口にしてほしいとの要望がありましたので、前向きに検討し「町田日本語の会」と歩調を合わせることを伝えました ・「日本語学習支援ボランティア養成講座」修了者から 11 名、元会員の再入会者 1 名、計 12 名の入会がありました ・ブラッシュアップ講座は参加者 30 名で無事に終わりました ・MIFA ニュース No.154 を HP にアップするとともに印刷発注済みで、出来上がり次第、総会議案書などとともに会員に郵送します。学習者には教室で配布します ・教室予約はほぼ通常通りでしたが、予約困難な曜日でも時折あり、せりがや会館 4 階会議室、フォーラム 3 階「男女平等推進センター」活動室を利用することもありました
5月13日	・総会が皆さんのご協力で無事に終わりましたことを御礼申し上げます。ありがとうございました ・今年度、養成講座を実施する場合には講師、場所の問題があり、早めに決める必要があります ・ブラッシュアップ講座を 7 月 19 日(土)せりがや会館 4 階会議室で開きます。講師はなし、グループディスカッション形式です ・MIC 主催の「日本語発表会」は 10 月開催に決まりました。MIFA の「スピーチ大会」は 11 月 15 日(土)で日が近いですが発表者は両方出ることも可能です ・友好部委員の福井亜也さんが、会計部委員を兼任します ・定時総会の開催方法などについて変更を考えるべき時期かと思われます。コストは大きな問題で、郵送料と委任状を兼ねた返信ハガキが計 355 円、それに紙代、印刷代などを加算すると 1 人当たり 400 円程度となります。来年以降、どのような形式で開催するか改革方法を考えていきたいと思っています ・総会で会則変更の承認を得ましたので、改定版会則を作成します
6月10日	・黄川田会長が東京日本語ボランティア・ネットワーク（TNVN）の総会に出席しました。TNVN では昨年まで会報を紙媒体で発行し会員に郵送していましたが、現在では紙媒体を廃止し、HP にアップする方法に変更したため経費を大巾削減することが可能となり、今年度から年会費を値下げしました ・MIC の年会費について、「町田日本語の会」が今年度は従来通りの 1 口とするという決定をしました。それを受け MIFA も同様にします。MIC の了承も得て、来年度からは 2 口とします ・5 月 14 日、MIC、町田日本語の会、MIFA の三者会議に出席し、それぞれの現状などについて意見交換と話し合いをしました ・MIC 主催の「日本語発表会」は 10 月 5 日(日)に決まりました ・6 月 2 日のコーディネータ会議で防災ガイドラインの説明をしました。その結果、各クラスでの避難訓練が今後は毎年必要ではないかという意見がありました ・今回は問題ありませんでしたが、総会委任状に代理人の指定が記入されている場合、評決数での扱いをどうするかを明確にするべきだと思われます ・学習者の待機数が増加傾向で厳しい状況ですが、教室のスペースの問題もあり対応は難しいところです ・改定版会則を作成し、役員に配信しました。その他の会員には希望者に配信するとともに印刷したものも用意しています ・総会議案書の配布方法を中心とした改善策を進めます。紙媒体、手作業を減らし省力化とコスト削減を図るもので、会員の PC 及びスマホの利用状況を知るために「電子データ受取調査（仮称）」を実施します

状 況 表 2025.6.25 現在

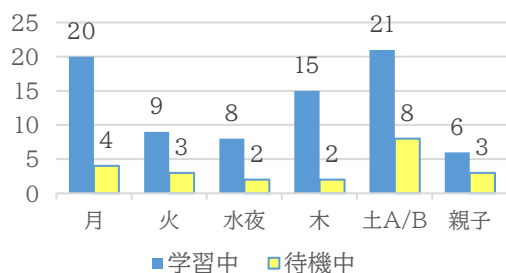
◆学習者数

学習中	79
待機	22
合計	101

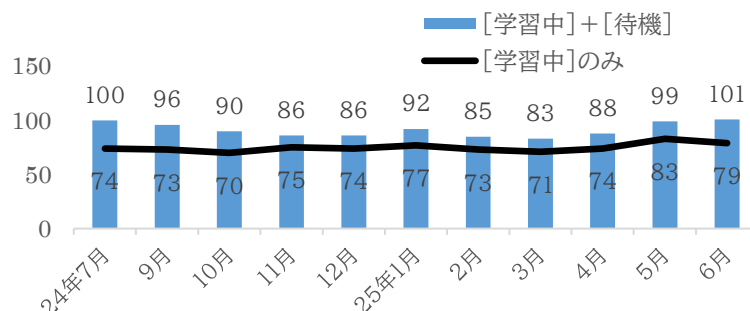
◆支援者

支援中	76
待機	9
休止	26
合計	111

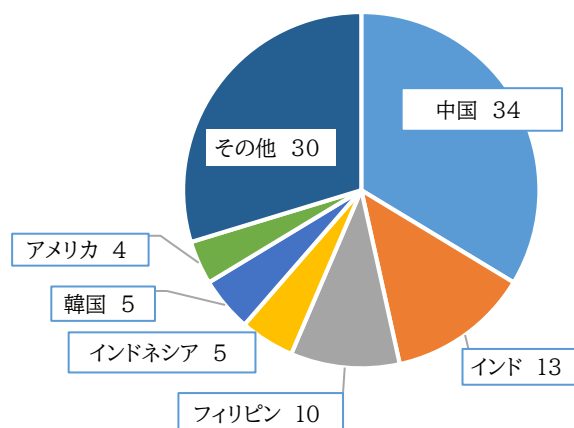
◆クラス別学習者数



◆学習者数の推移



◆学習者出身国（待機者を含む）



その他（30名）の内訳

- ・アフガニスタン、オーストラリア、シリア、ドイツ、ネパール、バングラデシュ、ベトナム、台湾 が各2名
- ・アルジェリア、アルゼンチン、イギリス、ガーナ、コスタリカ、スペイン、スリランカ、チリ、ナイジェリア、フランス、ペナン、ベラルーシ、香港、南アフリカ が各1名

今 後 の 予 定

7月 8日(火)	13:30～15:30	役員会	せりがや会館 3階 大会議室
7月 19日(土)	13:30～15:30	ブラッシュアップ講座	せりがや会館 4階 会議室
9月 9日(火)	13:30～15:30	役員会	せりがや会館 3階 大会議室
10月 14日(火)	13:30～15:30	役員会	せりがや会館 3階 大会議室
11月 11日(火)	13:30～15:30	役員会	せりがや会館 3階 大会議室
11月 15日(土)	13:30～15:30	日本語スピーチ大会	町田市文化交流センター「けやき東」

7月29日(火)～8月31日(日) MIFA 夏休み

掲載文及び写真の権利は MIFA に属しますので、許可なく転用することをお断りします

[編集委員]

濱田敏裕 池田晴美 立石滋子

MIFA ニュース No.155 Jul/Aug/Sep2025

発行日: 2025 年 7 月 3 日

e-mail: mifa_machida@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://mifa-machida.info/>

